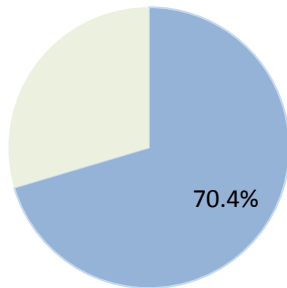


# 大手ネット証券の概況

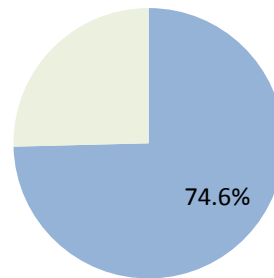
(2012年3月末時点)

SBI、楽天、マネックス、松井、カブドットコムの手ネット証券5社の概況を、各社決算説明資料等から纏めた概況です。

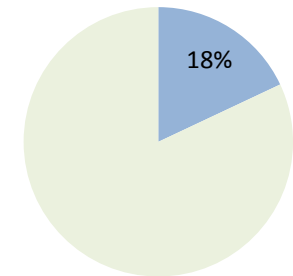
個人の株式取引売買代金  
ベース大手5社シェア



個人の信用取引売買代金  
ベース大手5社シェア



個人の日本株保有  
ベース大手5社シェア



大手、中堅証券などから、個人の株式資産の移管が継続

大手証券、他のネット証券も参加した信用手数料引き下げ競争

	口座数	信用口座数	信用取引依存比率
SBI	2,387,786	241,039	10.1%
楽天	1,279,269	141,839	11.1%
松井	839,879	126,146	15.0%
※マネックス	810,683	41,121	5.1%
カブコム	767,607	81,225	10.6%

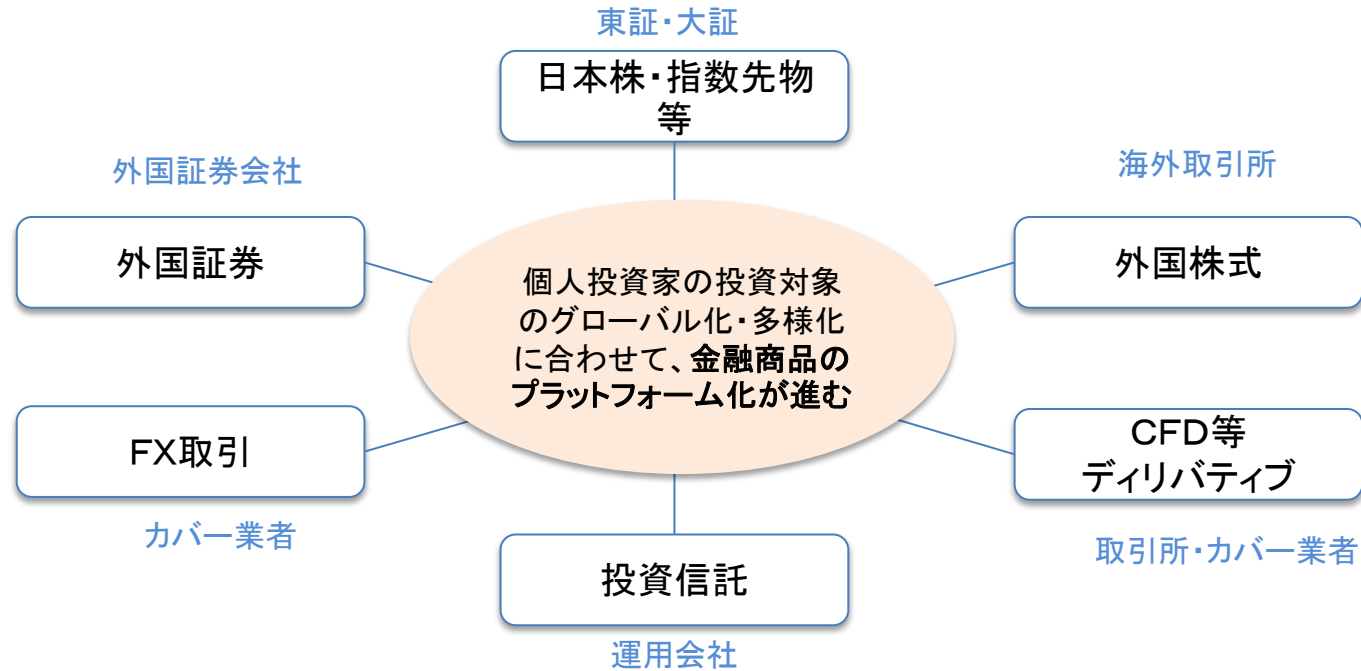
証券保管振替機構のデータにより、日本の個人株主の実数は概ね1600万人とされていますが、以下が推計されます・

・1600万口座 × 18% = 288万口座  
(大手5社利用の個人投資家数の実数推計)

大手5社の口座数の合計は約600万口座ですから、**大手5社内においても、個人投資家は平均2社程度の口座**を持っていることとなります。

※マネックスは稼働口座数

# 大手ネット証券の動向



共通問題

取引高速化対応

多角的な決済・保管

多様な事務コスト

求められるコスト削減策

店頭FXでの  
収益強化対応

プラットフォーム機能の  
有効活用

対面証券との  
連携の模索

# 分かれる事業戦略

